

Pick up
voice

「料理で世界から人を呼んで、新潟を盛り上げたい」

2016年9月、新潟市中央区古町に一軒のレストランがオープンした。野菜も肉も魚も、食用の花も、新潟県産食材を豊富に使う、新潟の食文化とイタリア料理がひとつになったイタリアンレストラン。そのオーナーシェフ・田村崇さんに、故郷新潟を独立の場所に選んだ理由を伺った。



オーナーシェフ

田村 崇さん

東京では、学生時代のアルバイトを含めると、約10年間レストランで働いた。その間、田村さんが料理を一生の仕事にしようという決意したのは、神楽坂にある老舗イタリアンで働いていた時だったという。そのシェフの料理に魅了され、志願して就職。4年

Profile 1982年生まれ 新潟市出身。高校卒業後、東京の大学に進学し経営学を専攻。飲食業に進み、神楽坂のイタリアンレストランなどで経験を積んだ後、Uターン。新潟市中央区に「フィオリータ」をオープン。

間かけてイタリア料理を学んだ。前菜からデザートまで全てを経験し、やがて、自分の料理が評価されるように。「独立を考えた時、東京では何を目標していいのかが定まらなくて」と、29歳でUターン。「いつかは帰ろうと思っていたので、自分の中では自然な流れで

した」と、田村さん。

新潟では、レストランのマネージャーを2年、シェフを3年経験。経営について学び、生産者や同業の仲間、またお客さんとのつながりを深め、34歳で自分の店をオープンさせた。「農家の方と出会って、実際に畑に行き、野菜の生長を見るようになって、素材の力や流通の仕組みが分かったのが、独立を後押ししてくれました」。だから、田村さんのモットーのひとつは、野菜を大切に使うこと。野菜のおいしさがそのまま伝わるように作るサラダは、自慢の一皿だという。



また、田村さんが所属する、県内のイタリアンレストランのオーナーシェフの集まり「IL Laboratorio Di Cucine Niigata」のサポートも、「温かくて、ありがたかった」と、田村さん。「新潟に戻ってきて感じるのは、こういう人と人との距離の近さ。関係性がつながって、広がっていくと、前向きになれますよね」。

今、田村さんは、2つのチャレンジを始めている。ひとつは、イタリア料理にとらわれすぎず、新潟らしさや和の要素

を料理に取り入れること。野菜や魚、肉など素材は新潟産を使うことに加えて、昆布や鰹節なども用いて、「新潟だからこそできる、懐かしくてあたたかいイタリア料理を目指しています」。もうひとつは、自分の店だけでなく、広く飲食業界が協力し合えるような仕組みを作っていくこと。「自分自身が東京の修業時代、仕事と生活の両立が大変だったので、若い人たちに働くことの楽しさを伝えたくて」と、田村さん。全体で若い人材を育てていく仕組み、ジャンルを超えて情報や技を伝え合う方法など、「まだ形にはなっていませんが、ぜひ確立したい」。県外からも、また海外からも人を呼べる料理を。田村さんの視線はしっかりと将来に向かっていく。



田村さんの働く「フィオリータ」

妻有パークを始め、季節の野菜や果物など、新潟産の旬の食材を使う、新潟×イタリア料理レストラン。味も食感も香りも盛り付けも器も、五感で楽しめる料理を提供している。

YONEYAMA'S voice

米山知事からの
メッセージ



新しいスタート

新緑がまぶしい季節、4月から新しい環境で仕事や生活を始められた方も、徐々に慣れてきた頃でしょうか。

新潟県も新たな予算で、新年度のスタートを切りました。この新年度予算で、命と暮らしを守り、一人一人の不

安や不幸を少しでも減らすことで、県民の皆様がそれぞれに幸福を増やしていける県政の実現に取り組んでまいります。至らない点も多々あるかと思えますので、ぜひ、県政へ皆様の声をお届けいただければと思います。

なお、新年度予算では、原子力発電所事故の3つの検証、県民健康

ビッグデータプロジェクト、新潟県版給付型奨学金の制度設計など、新たな取り組みも始まっています。今までの取り組みと併せて、県民の皆様とともに、命と暮らしが守られ、皆様一人ひとりが自らの幸福を実現できる新潟県を作っていきたいと思えます。

Present voice

さかなクンのサイン入りパペットを1名様にプレゼント!

新潟県の広報紙「NIIGATA Voice(ニイガタボイス)」では、皆さんからのご意見やご感想をお待ちしております。ハガキまたはメールで「氏名」「住所」「年齢」「職業」「ご意見、ご感想」をお寄せください。お送りいただいた方の中からさかなクンのサイン入りパペットを1名様にプレゼントいたします。

〈送付先〉 〒950-8570 新潟県庁 広報広聴課「ニイガタボイス」プレゼント係
〈mail〉 niigatavoice@pref.niigata.lg.jp ※タイトルを「ニイガタボイスプレゼント」としてお送りください。
〈締切〉 2017年6月23日(金)消印有効 ※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



Mobile voice

新潟県の広報紙「県民だより」と「NIIGATA Voice(ニイガタボイス)」はモバイル・スマートフォンでもご覧いただけます。県や各地域からの情報、季節のイベント情報のほか、ニイガタボイスに掲載されたさかなクンの錦鯉とのふれあいの様子をご覧いただけます。閲覧は無料です。
※通信料は別途かかります。

<http://www.kenmindayori.com>
「県民だよりスマホ版」はこちらから →



発行・編集／新潟県広報広聴課 新潟市中央区新光町4番地1 TEL 025-280-5014 FAX 025-283-2274
掲載されている情報は2017年5月現在のものです。

【個人情報の取り扱いについて】ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの抽選・発送および統計資料の作成に利用します。業務の一部を委託する場合がありますが、個人情報が適切に取り扱われるよう責任を持って保護・管理いたします。

リサイクル適性 A
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

